

2019年9月10日

会社名：株式会社立花エレクトック
代表者名：代表取締役社長 渡邊 武雄
(コード：8159 東証1部)
問合せ先：執行役員 経営戦略室長 松浦 良典
(TEL：06-6539-2718)

会社名：八^ヤ洲^{シマ}電機株式会社
代表者名：代表取締役 会長兼社長 太田 明夫
(コード：3153 東証1部)
問合せ先：上席執行役員 経営統括本部長 織田 富造
(TEL：03-3507-3349)

八洲電機株式会社から株式会社立花エレクトックへの 株式譲渡に関する基本合意書締結のお知らせ

株式会社立花エレクトック（以下、「立花エレクトック」といいます）と八洲電機株式会社（以下「八洲電機」といいます）は、本日開催のそれぞれの取締役会において、八洲電機の子会社である八洲電子ソリューションズ株式会社（以下、「八洲電子」といいます）の株式を、立花エレクトックへ譲渡する基本合意書を締結致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 基本合意書締結の理由

半導体市場は米中貿易摩擦などにより不透明感を増しており、今後は世界市場全体においてマイナス成長が予測され非常に厳しい状況にあります。そのような状況下、両社は収益力の向上と企業価値の増大に向け、当基本合意を締結し具体的な検討に着手することと致しました。

立花エレクトックは、電機・電子の技術商社として、FAシステム、半導体デバイス、施設、MS及び海外の5事業を有しております。この中で主力事業の一つである半導体デバイス事業では、規格品からユーザー仕様までニーズに合わせた半導体や電子デバイス製品の販売、さらにマイコンやカスタムLSIの設計開発を行っております。

そのような状況下、八洲電子が立花エレクトックグループの一員となることは、商材ラインナップの拡充による顧客満足度の向上や販売先の重なりも小さいことからマーケットの拡大、また、お互いの得意分野における技術補完によるソリューション提案力の強化が図れるなど、大きなシナジー効果が得られるものと判断しました。

鉄鋼、石油業界を中心にプラント事業を展開する八洲電機は、事業の選択と集中によりエンジニアリング事業へ経営資源を投下しております。一方、八洲電子は、2016年4月に分社化し、半導体事業に加えIoT関連需要を中心にソフト事業の拡大などのビジネスモデルを展開してまいりました。

そのような状況下、八洲電機は、今後の事業運営において、グループ経営の安定化・効率化及び事業・財務リスクの回避が可能である等を総合的に勘案した結果、本株式譲渡が八洲電機にとって最善であり、その経営資源をエンジニアリング事業に集中展開することで収益力の更なる強化につながると判断しました。

なお、本件株式譲渡が、立花エレクトック及び八洲電機の2019年度の連結業績予想に与える影響は軽微であります。

2. 本件の概要

- (1) 譲渡価額 未定
- (2) 八洲電子発行済み株式数 1株
- (3) 異動前の所有株式数 八洲電機 1株 (100%)
- (4) 異動後の所有株式数 立花エレテック 1株 (100%)

3. 会社概要

① 商号	株式会社立花エレテック	八洲電子ソリューションズ株式会社
② 本社所在地	大阪府大阪市西区西本町1-13-25	東京都港区新橋三丁目1-1
③ 代表者	代表取締役社長 渡邊武雄	代表取締役社長 芦田敏
④ 主な事業内容	産業用電機・電子の商品、システムを販売する技術商社	電子デバイス・コンポーネント事業
⑤ 資本金	5,874百万円	350百万円
⑥ 設立年月	1948年7月(1921年9月創業)	2016年4月
⑦ 決算概況(2019年3月31日現在)		
売上高	182,875百万円	7,714百万円
経常利益	7,033百万円	128百万円
当期純利益	4,906百万円	90百万円
総資産	121,170百万円	3,756百万円
純資産	67,916百万円	972百万円

4. 日程

- (1) 基本合意書締結日 2019年9月10日
- (2) 株式譲渡契約締結日 2020年1月31日 (予定)
- (3) 株式譲渡日 2020年4月1日 (予定)

以 上